

東海警備保障株式会社

行動認識AIシステムの導入により、セキュリティ向上と業務効率化を実現

都道府県 愛知県

従業員数 380人

事業 警備業

事業概要

- ・東海地方を中心に事業を展開。中部国際空港の警備も担う。
- ・グローバル水準の要人警護や救急関連サービス、企業リスクマネジメント支援まで、セキュリティ&セーフティ全般をサポートする『社会安全創造企業』として進化。



抱えていた課題



- 大型施設は死角が多く、有害事象を即座に覚知できないことが多い。
- 監視カメラを多数設置しても、すべての画面をリアルタイムに観ることができず、見逃しも多い。
- 既存のセンサー類では捉えられる事象の種類が少ない。
- 定点での警戒監視（立哨）などを長時間行うことは心身の負担が大きい。

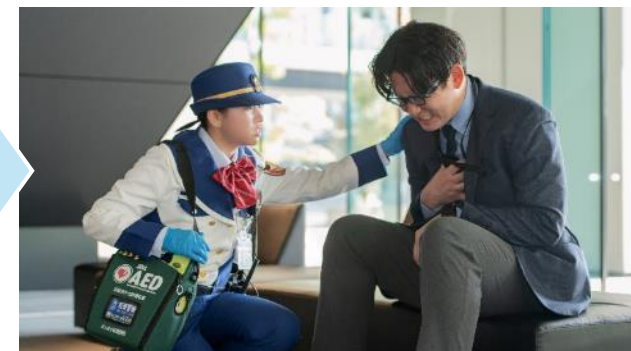
導入後の変化、効率化された業務

- 施設内及び外周部の有害事象をリアルタイムに検知できるほか、既存のセンサー類では捉えられなかった事象を早期認識できるようになった。
- セキュリティ評価に必要な人流調査などにも同システムを利用し、調査期間中、絶え間ない観測を行うことができるようになった。
- 人による定点での監視業務の一部を同システムに代替することができた。

導入した「行動認識AIシステム」の特徴

- 既設の監視カメラをそのまま利用できる。（条件有）
- 行動認識AIで、侵入、暴力行為、長時間滞留、転倒、ふらつき、車椅子など様々な事象を検知できる。
- アラートを防災センターの固定端末だけでなく、巡回を行っている携帯電話などにも送信可能。
- 人流データの解析などにも利用できる。

成果



- 発生した事象の覚知や現場への介入時間が大幅に短縮。警戒対象となる事象の見逃しもほぼゼロになった。
- 監視や調査に必要な人員を削減でき、業務負担やコストの減少に繋がった。
- セキュリティ評価の精度や現場実務の品質が向上したことで、クライアント施設の価値を安全面から向上させることにも寄与している。